

2024年 神の家族週間 聖書と祈禱課題

14日(日)	15日(月)	16日(火)	17日(水)	18日(木)	19日(金)	20日(土)
聖書の言葉						
<p>そこであなたがたは、もはや異国人でも宿り人でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者であり、神の家族なのである。</p> <p>またあなたがたは、使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられたものであって、キリスト・イエスご自身が隅のかしら石である。</p> <p>このキリストにあって、建物全体が組み合わされ、主にある聖なる宮に成長し、そしてあなたがたも、主において共に建てられて、霊のすまいとなるのである。</p> <p>エペソ人への手紙 2:19～22</p>	<p>もし、一つの肢体が悩めば、ほかの肢体もみな共に悩み、一つの肢体が尊ばれると、ほかの肢体もみな共に喜ぶ。あなたがたは、キリストのからだであり、ひとりびとりはその肢体である。</p> <p>コリント人への第一の手紙12:26～27</p>	<p>人をさばくな。自分がさばかれないためである。あなたがたがさばくそのさばきで、自分もさばかれ、あなたがたの量るそのはかりで、自分にも量り与えられるであろう。なぜ、兄弟の目にあるちりを見ながら、自分の目にある梁を認めないのか。自分の目には梁があるのに、どうして兄弟にむかって、あなた目からちりを取らせてください、と言えようか。偽善者よ、まず自分の目から梁を取りのけるがよい。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目からちりを取りのけることができるだろう。</p> <p>マタイによる福音書 7:1～5</p>	<p>そのとき、正しい者たちは答えて言うであろう、『主よ、いつ、わたしたちは、あなたが空腹であるのを見て食物をめぐみ、かわいているのを見て飲ませましたか。いつあなたが旅人であるのを見て宿を貸し、裸なのを見て着せましたか。また、いつあなたが病気をし、獄にいらるのを見て、あなたの所に参りましたか。すると、王は答えて言うであろう、『あなたがたによく言っておく、わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである』。</p> <p>マタイによる福音書 25:37～40</p>	<p>あなたがたは、地の塩である。もし塩の効き目がなくなったら、何によってその味が取り戻されようか。もはや、なんの役にも立たず、ただ外に捨てられて、人々にふみつけられるだけである。あなたがたは、世の光である。山の上にある町は隠れることができない。あかりをつけて、それを枡の下におく者はいない。むしろ燭台の上において、家の中のすべてのものを照らせるのである。</p> <p>マタイによる福音書 5:13～16</p>	<p>だれに対しても悪をもって悪に報いず、すべての人に対して善を図りなさい。あなたがたは、できる限りすべての人と平和に過ごしなさい。愛する者たちよ。自分で復讐をしないで、むしろ、神の怒りに任せなさい。なぜなら、「主が言われる。復讐はわたしのすることである。わたし自身が報復する」と書いてあるからである。むしろ、「もしあなたの敵が飢えるなら、彼に食わせ、かわくなら、彼に飲ませなさい。そうすることによって、あなたは彼の頭に燃えさかる炭火を積むことになるのである」。悪に負けてはいけない。かえって、善をもって悪に勝ちなさい。</p> <p>ローマ12:17～21</p>	<p>それだから、あなたがたにとって良い事が、そしりの種にならぬようにしなさい。神の国は飲食ではなく、義と、平和と聖霊における喜びとである。こうしてキリストに仕える者は、神に喜ばれ、かつ、人にも受け入れられるのである。こういうわけで、平和に役立つことや、互いの徳を高めることを、追い求めようではないか。どうか、忍耐と慰めとの神が、あなたがたにキリスト・イエスにならって互いに同じ思いをいだかせ、こうして、心を一つにし、声を合わせて、私たちの主イエス・キリストの父なる神をあがめさせてくださるよう</p> <p>ローマ14:16～23</p>
祈 禱 課 題						
<p>《東八幡キリスト教会の働きを覚えて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆教会がみ言葉と祈りに生き、キリストにあるいのちと平和を生きることができるように ◆「星の下」の活動を通して、すべての人のホーム(隣人)となれますように 	<p>《障害や病気で苦しんでいる方々のため》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆病の中で苦闘している方々の上に慰めと癒しが豊かであるように ◆悩みの中で苦闘している方々がキリストにあって信仰と希望と愛に満たされるように 	<p>《すべての差別と闘っている方々を覚えて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆あらゆる差別のない社会となるように ◆不平等な制度が変革されるように ◆すべての人の人権が守られるように ◆すべての人の命が守られますように 	<p>《困窮・孤立状態にある方々を覚えて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆今日一日のいのちが守られるように ◆ホームを失った人たちに新たな絆が築かれるように ◆人としての尊厳(生活)が取り戻せるように ◆社会から搾取がなくなるように 	<p>《災害の中で苦闘する方々を覚えて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆能登半島地震で被災された方々を覚えて ◆世界中で起っている災害で苦しんでいる方々を覚えて ◆災害支援の前線で働かれている方々を覚えて 	<p>《世界の平和を覚えて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆憎しみがあるところに赦しがあるように ◆分裂のあるところに一致があるように ◆絶望のあるところに信仰があるように ◆戦争が無くなるように ◆武力による平和ではなく、赦しによる平和が実現しますように 	<p>《神の国と義を求めて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆心を尽くしてイエス・キリストを愛することができるように ◆神と人々に仕えることができるように ◆分かち合えるように ◆共に赦しあえるように ◆すべての人と神の家族となれるように